

小林敬幸

Noriyuki Kobayashi

国際派の経営感覚を持ち、世界に雄飛。モットーは「士魂商才」

「健康と環境」をテーマに優れた品質の生活関連用品を企画開発し、消費者に届けることを目的とする株式会社三栄コーポレーション。創業65年を迎える歴史を持ち、ジャスダックの上場企業の代表取締役を務める小林敬幸さんに「自身の経歴や会社の事業内容を語っていただきました。」

私は株式会社三栄コーポレーションに入社して30年余になります。母体となった企業は、まだ戦後の混乱が続く1946年、大阪で創業しました。その後、東京と名古屋の雑貨の輸出商社と合併し、1961年に三栄貿易株式会社が生誕。現在の社名に改称したのは1971年です。当社は元々、雑貨などを主体とする輸出商社でしたが、今では輸入商社としての顔も持ち、「健康と環境」をテーマに、ものづくり（OEM事業）とブランドづくり（ブランド事業）の2つのビジネスモデルを展開しています。

そもそも私が当社に入社するきっかけは、父親が貿易業を営んでいたこと、周りの先輩の中にも雑貨の貿易業に携

わの方が多かったことが上げられます。

いずれは父親の後を継ごうかと思っ
ていて、貿易の勉強をする為の就職先を探していた時に、周りの先輩方から「雑貨の貿易をしたいなら、絶対に入社に入れ。」と言われ入社試験を受けました。その昔、当社は「三栄スクール」と呼ばれる、知る人ぞ知る会社でした。ですから私は今の会社しか就職試験を受けていません。



名古屋学院大学卒業後、入社して配属されたのが名古屋支店。当時は瀬戸・多治見・瑞浪の陶磁器を欧米向けに輸出する業務に携わっていました。私の主な担当地域はアメリカだったので呼び水となります。名古屋支店で4年程勤務した後、アメリカ・シカゴへ転勤の辞令が下ります。アメリカ・シカゴを皮切りに、台湾、台北、アメリカ・ミネアポリス、タイ、バンコク、シンガポール、アメリカ・ニューヨークと実に19年間もの年月を海外で勤務しました。9年前に

やっと日本に戻り、東京本社勤務となった訳です。そして、2011年1月に当社の代表取締役役に就任しました。私は輸出に関わる海外での営業担当が長く、日本の方に商品販売することがゼロ経験でしたので、9年かかって、やっと日本でのビジネスを覚えてきたような状態です。

そんな私のモットーは「士魂商才」。長い海外赴任の中で会得した心構えが、日本人の魂（「プライド」）を持ち、商売をすること。プライドを捨ててまで、遮二無二ビジネスに走るのはいただけないなど…。いつもこの言葉を念頭に起きながら、企業経営に取り組んでいます。そして、目標はもちろん売り上げアップ。早くから海外進出した当社の強みを活かし、さらにソーシングと生産管理能力を磨いて、世界で戦える高収益体質の企業に育てていきたいと考えています。

同窓生のみなさんで一般生活関連用品に関わっている方がいらつしゃれば、声をかけてください。私はビジネスチャンスがあれば、誰でもウェルカムです。是非一緒にコラボレーションをしましょう。



OB's & OG's NOW 活躍する同窓生



Profile

小林敬幸 氏

(79E)

株式会社三栄コーポレーション
代表取締役社長

